

**製品名: APE1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe01660**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.51mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 36 kDa; Observed MW: 36 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	APEX1 APEX1; APE; APE1; APEX; APX; HAP1; REF1; DNA-(apurinic or apyrimidinic site) lyase; APEX
別名	nuclease; APEN; Apurinic-apyrimidinic endonuclease 1; AP endonuclease 1; APE-1; REF-1; Redox factor-1
遺伝子 ID	328
SwissProt ID	P27695
免疫原	ヒト APE1 の組み換えタンパク質

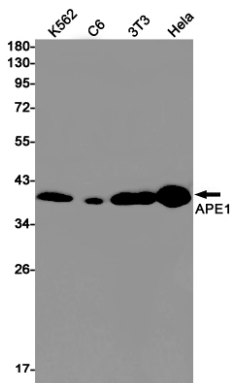
## 背景

Ape1 は脱塩基部位の修復を開始し、塩基除去修復（BER）経路に必須です。Ape1 の修復活性は、BER におけるもう一つの必須タンパク質である XRCC1 との相互作用によって刺激されます。Ape1 は、転写因子を活性な還元状態に保つ酸化還元因子として機能しますが、酸化還元非依存的に転写補因子として機能し、アポトーシス、増殖、分化といった様々な細胞運命を制御します。

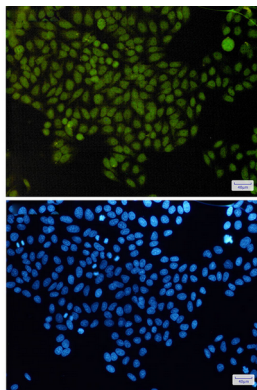
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

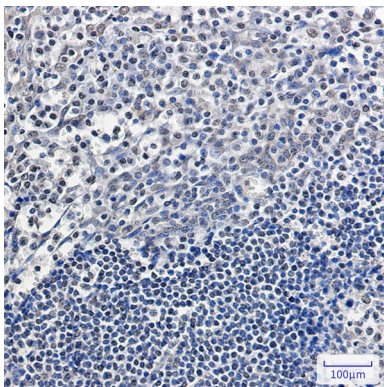
## 画像データ



APE1 抗体を使用した K562、C6、3T3、Hela 溶解物中の APE1 のウエスタンブロット分析。



APE1 抗体と DAPI（青）を用いた HeLa 中の APE1（緑）の免疫細胞化学分析



APE1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム（pH 6.0）を使用した。